



させぼ夢大学

発行 ● させぼ夢大学広報委員会
事務局 / 〒857-0863
長崎県佐世保市三浦町4-30・松蔵ビル3F
TEL.0956-25-9555
FAX.0956-25-9545
http://www.yumedai.com/
E-mail:sasebo_yumedai@yahoo.co.jp

お尋ねテレホン 25-9556

夢のつづき

させぼ夢大学会報

No.189 <2010・12>

平成22年度
第8回

2010年 12月16日(木)

アルカスSASEBO 大ホール

●開 場 午後 5:30
●夢のひろば 午後 6:00
●講 演 午後 6:30

「土俵の鉄人」の異名をとり、回転の速い突っ張りといなしで相撲界を賑わしてくれた人気力士、元関脇寺尾の鍛山矩幸さんをお迎えします。

父上は、もろ差し名人として鳴らした元関脇の鶴ヶ嶺、母上は25代横綱西ノ海の孫娘、長兄は元十両の鶴嶺山、次兄は元関脇の逆鋒(現井筒)という力士の家系に生まれました。

高校2年生の時に最愛の母上を癌で亡くされました。母の死をきっかけに高校を中退し、兄に続いて角界入りを決意されたそうです。

現役時代は、軽量の体型でありながらその気迫と技の切れで、多くのファンを魅了し大活躍、横綱千代の富士、貴乃花、大乃国を倒すなど、記憶に残る名勝負を演じ、数多くの殊勲賞・敢闘賞・技能賞に輝かれました。また、



相撲界切っ手の甘いマスクに女性ファンからの声援も殊の外多いものがありました。

20代の引退が少なくない相撲界において、39歳まで23年間140場所を勤め、平成14年現役引退後は、年寄・鍛山を襲名し、平成16年に鍛山部屋を設立。現在は、豊真将を筆頭に後進の指導を精力的に行い、相撲のすばらしさを伝えるためにホームページによる部屋情報の提供や番組出演、講演活動をされています。

「負けん気だけは誰よりも強かった」「いい部屋づくりを目指したい」とおっしゃる鍛山さんの相撲人生。

どんなお話が聞けることでしょうか。ご期待ください。

しころやま つねゆき
元 関脇寺尾 ● 鍛山 矩幸氏

テーマ ● 私の相撲人生



次回のご案内

- と き / 2011年1月20日(木)
- 講 師 / 歴史家・作家 かく こうぞう 加来 耕三氏
- テーマ / 歴史から学ぶ知恵

●昭和33年大阪市生まれ。56年奈良大学文学部史学科を卒業し、研究生生活を経て、59年より、奈良大学文学部研究員。現在は、大学・企業の講師を務めながら、歴史家・作家としての独自の史観に基づく著作活動を行っている。また、テレビ等の番組監修・構成・企画・出演などの依頼も多く、携わった番組には「その時歴史が動いた」「アインシュタインの眼」(NHK)、「タモリのヒストリー-X」(フジテレビ)などがある。「歴史研究」編集委員、内外情勢調査会講師、政経懇話会講師等も務める。

鍛山 矩幸 氏のプロフィール

●昭和38年東京都生まれ。父はもろ差し名人として鳴らした元関脇鶴ヶ嶺、母は横綱2代西ノ海の孫娘、長兄は元十両鶴嶺山、次兄は元関脇逆鋒という力士の家系に生まれる。昭和54年、高校2年生の時、最愛の母が癌で他界した事を契機に、兄達を追うように井筒部屋に入門、初土俵。入門後は母の旧姓(寺尾節子)から寺尾節男を名乗った。小柄な身体で幕内通算93場所を務め、殊勲賞3回、敢闘賞3回、技能賞1回を受賞。平成16年鍛山部屋を設立し、親方として後進の指導を精力的に行っている。





由美かおる氏



させば夢大学講演会
心とからだの健康～西野流呼吸法～ 講師/由美 かおる 氏



たった一度の人生を前向きに
佐世保市京坪町 太郎浦 幸子
理事長より来年度の講師に
関してその進捗状況をお話し
頂き、予定されている講師陣
は全て素晴らしく、会場から
歓声が上がったのもごく自然
な成り行きだと思つた。

スクリーンに映し出される
一齣一齣に、幼少時から四半
世紀も演じ続けられた水戸黄
門までの一連の歩みを再認識
でき、多才な氏に驚かされた。
「由美流の幸せになるレシピ
十カ条」の中で、チャレンジ
精神を挙げられたが、まさに
自らが実践しておられ説得力

があった。
ある出会いから始めた合気
道が、水戸黄門の演技に役立
ち、シャンソンはフランス語
で英語の発音も小気味よく、
油絵もお得意の由。習い始め
て一年半のアコーディオンに
合わせての歌唱力は、フロア
に大きな拍手が沸き起こっ

三行感想文 夢のとびら

■歌を忘れたカナリアならぬ、年を忘れた、いや超越した不死鳥の、生涯青春を地で行くチャレンジの毎日に感動しました。教授の音頭で演じられた学生総出の呼吸法実践の一大デモンストレーションは3階席から見ると圧巻でした。

佐世保市光月町●国松 仁志

■幸せなレシピが大秦（京都映画村）にあったとか…。言葉といい、心遣いといい、京都は心に沁み入る言葉遣いがあるようで嬉しいですね。西野式呼吸法、簡単にできるようで出来ない。でも、楽しく挑戦してみようと今夜から始めてみました！少しでもメタボが緩和できればありがたいなあと思いつつ…。

佐世保市折橋町●田口 清紀

■今日の健康法、暇も道具も金もいらぬ。「明日からやってみますか?」「はあーい」と手は挙げてみたものの、オッドドッコイ、寝過ぎてしまい大あわて！言うは易し、行方は難し。由美さんって、思ったより努力家だなあ。

佐世保市奥山町●古賀 アキエ

■いつまでも変わらない素晴らしいプロポーションと美しさには秘訣がありました。

- ・合気道呼吸法
- ・何にでも挑戦する
- ・前向きの生き方がポイント

今日はそのポイントを色々教えて頂きました。

佐世保市桜木町●原 尚子

■40年くらい前でしょうか…。「レ・ガールズ」という、歌って踊っての番組と、タイトルは覚えていませんが、同じように西野パレエ団の皆さんが出演されていたアクションドラマのファンでした。あの頃から、由美さんのイメージは全く変わりません。「継続は力」とはこういうことを言うのでしょうか。元気を頂きました。

佐世保市横尾町●鷲崎 涼子

■水戸黄門が一番印象に残っております。現在もテレビを毎日観賞しています。今回由美かおるさんに直にお目にかかれて、とても嬉しかった。健康の秘訣である「西野式呼吸法」を教えてもらい、今後とも継続していきたいと思います。「生涯青春」身体と心の健康法、とても勉強になりました。

佐世保市大黒町●安部 伯之

■青春は年ではないということをお聞きして、人生の半分を過ぎた自分にとって、すばらしい言葉でした。身も心も若々しい由美かおるさんにお会いして、目標を持って生きていかなければと思います。元気をいただきました。

佐世保市大宮町●田中 美祐

■団塊世代のアイドル由美さん。お話は、笑う、健康の作り方、楽しかったです。スタイルも良くて映画ではあとが残らないような気をつけていたと聞いています。歌もお上手で何にでもチャレンジされる。恐れ入りました。私も頑張ります。

佐世保市木風町●西 照美

■数カ国語の習得にチャレンジ、健康法を体得、あらゆる方面で大活躍の由美さんはすばらしい。凡人には高嶺の花である。たくさん笑い、人々から敬意を得る。子どもに愛され、他人の批判を素直にありがたく受け止め、感動するなど…。難しいと思う。しかし、あきらめない、少しでも実践できる人生にチャレンジしたい。

佐世保市天神町●青木 哲夫

■由美かおる氏を迎えて、パワーポイントを使って心とからだの健康「西野式呼吸法」を全員で息を吐くことから始まり実践できたので、これから呼吸法を取り入れていきたい。彼女の若さの秘訣は、たゆまぬ向上心とチャレンジ精神。由美かおるさん、アコーディオン演奏もよかったです。学ぶことがたくさんありました。

佐世保市桜木町●原 敏朗

夢のひろば

- ◆ 日時 / 12月16日(木) 午後6時00分～20分
- ◆ 演目 / バリトン独唱
- ◆ 出演 / バリトン：西田 祐樹
ピアノ：森田 真帆

◆ 出演者紹介

国立音楽大学声楽科卒業。

平成19年に佐世保、22年に東京でジョイントコンサートを行い好評を博す。また、今年11日障害者芸術祭で佐世保市民管弦楽団と共演し、ベートーヴェン交響曲第9番のソリストを務める。東京・佐世保を中心に様々なコンサートに出演し精力的に活動を行っている。

◆ 曲目

1. 歌劇「カルメン」より 作曲 ジョルジュ・ビゼー
～闘牛士の歌～
2. 落葉松 作詞 野上 彰
作曲 小林 秀雄
3. 長崎の鐘 作詞 サトウハチロー
作曲 古関 裕而
4. 九十九詩人 作詞 阿久 悠
作曲 羽田健太郎

「ゆみ大学」で不老長寿が私のものに!

た。英会話、フランス語、ロシア語、シャンソン、ジャズなども挑戦中と伺った。「たった一度の人生、過去に拘らず前向きに生きよう」との言葉をかみしめながら帰路について。

感謝! 継続! チャレンジ!

佐世保市早岐二丁目 江上 清美

颯爽と登場された由美かおるさん。若い。きれい。背筋をピンと伸ばし合気道をされる姿が想像されました。こやかにお話もお上手で、講演に慣れていらつしやると思

ました。みんなで立って呼吸法を習い、さっそく家に帰って、吐いて、吸ってと呼吸をしました。体が温まりすつきりました。

第一に両親に感謝、その他にも感謝しましょう。第二に継続する。何事にも最後まで続ける事。第三にチャレンジする。挑戦されているアコーディオンも大変上手でした。由美さんのお話を参考に頑張っていきたいと思えます。本当にありがとうございます。

私はこう思う

佐世保市石坂町 江見 雅博

前々回の櫻井よしこさんの感想の中に、「政治家に対する批判に耐えがたい」というのがありましたが、政治家は、その批判に耐えなければなりません。耐えられないようであれば政治家になる資格はないのです。櫻井さんの批判などは、麻生前総理や安倍元総理に対するネガティブキャンペーンに比べればまだまだ手ぬるいものでした。漢字の読みや、ラーメンの値段について全人格的な否定がマスコミ上でされました。しかしながら、これができるのは、独裁

政権ではない自由な日本だからです。お隣の強力な共産党支配の国では、為政者に対する批判は即刻逮捕につながるでしょう。自由な国にいることに感謝しましょう。



昔のまんまでした!

由美 かおるちゃん



講演を聴かれた感想をお待ちしています!!

◎400字詰原稿用紙1～2枚程度にまとめてお書き下さい。短文でも結構です。掲載分にはささやかですが記念品をお送りします。締め切りは講演日の1週間後(必着)といたします。感動がさめないうちになるべく早く書いてお出し下さい。

あて先は、☎857-0863

佐世保市三浦町4-30 松蔵ビル3F
させぼ夢大学 事務局

◎講演直後、三行感想文(60字程度)を書いて、出口の「夢のとびら投稿箱」にお入れ下さい。尚、1週間以内にはがき、またはファックス等で投稿していただいても結構です。年間に2回以上掲載の方には記念品をお送りします。

◎せっかく頂いた原稿でも、紙面の都合上掲載されない場合があります。また一部省略させていただくこともありますので、ご了承下さい。

E-mailでも受け付けます!

sasebo_yumedai@yahoo.co.jp



バラの折紙ツリー

ふるさと紀行 九十九島の 民話

8

「馬島」「元の島」

佐世保工業高等専門学校
澤田 彰

■島の形が馬に似ていると 言われる「馬島」

—馬が漁師に恩返しをして
たくさん魚がとれるように
なった伝説—

むかしむかし、あるところに
漁師が船に乗ってある島に魚を
捕りに行きました。

魚を釣っていると急に空が曇
り嵐になったので、その島に泊
まる事になりました。その夜、男
が眠っていると、かすかに馬の
声が聞こえてきました。その声
をたどっていくと、馬が苦しそ
うにしています。男が近寄っ
てみると足にひどいケガをして
いました。男は一生懸命、看
病をしてやりました。すると馬
は元気になり山へ戻っていきま
した。それから、その男が魚を
捕りに来るたびにたくさん魚
が捕れるようになりました。
これは、馬が男に恩返しをし

ているのだらうということだ。
この島を「馬島」と呼ぶようにな
ったと言うことです。

また、こんな話もあります。

むかし、たとえ治つても顔にひ
どい跡が残つてしまう病氣、天
然痘は、魔の病といつて恐れら
れていました。特に九州の薩
摩藩では、この病人を発見次第
殺してしまう習わしがありました。
ある時、さる庄屋の一人息
子がそれらしい病氣にかかつて
しまい、悩んだ末、庄屋はつい
に息子を小舟に乗せて出発しま
した。隠れ家を求めて、たどり

着いたのがこの島で、人々が魔
の島といつて寄りつかないのを
幸いに、岩陰に小屋を造つて息
子をかくまいました。そして、
庄屋は対岸の村のさる寺に寄宿
して仏にすがり、夜になると人
目を忍んで食べ物息子に運び
ました。幾月かが過ぎた後、父
親のこのすべてを投げうつての
愛情が神仏に通じたのか、息子
の病氣は治りました。庄屋親子
が晴れて



郷里へ帰
つたのは
もちろん
で、こん
な間のい
い話はない
という
ことで、
この島を「ましま」と呼ぶよう
になったと言うことです。
しかし、又、島の形が馬に似
ているから「馬島」とも言われ
ています。

■昔、二つ尾の大蛇が棲ん でいた島「元の島」

—昔、炭坑があった島—

むかしむかし、この島には二つ
尾を付けた大蛇が棲んでいま
した。ある時、大蛇は砂浜に横にな
り、日向ぼっこをしていました。
これを見つけた、弓の名人が力い
つぱい弓を張り、大蛇を見事射止
めました。

大蛇は真つ二つに裂け、怒り立
ち鎌首をたてて、天に昇ろうとし
たが力尽き、立ち往生してしま
いました。

大蛇の死体はやがて石と化し、
「竜岩」と呼ばれるようになりま
した。また、尾の方は飛び切れ、
海辺に横たわり、石となって「飛
切干切」と呼ばれるようになりま
した。

この大蛇は腹中に卵を抱えてお
り、その卵が四方に散乱しました。
よつて、この弓射りの場所は今で
も「子下し」と呼ばれています。

鹿子前と牽牛崎の小湾の根元に
ある島という意味から「元の島」
と名付けられました。

島の奥は埋め立てられ、戦前は
塩釜がありました。また、この島
には炭坑もあり、昭和十五年頃は
炭坑跡に人々は水を汲みに行つて
いました。戦後は島に畑が作られ、
夏にはスイカ、ウリ、秋にはサツ
マイモが植えられ、いっぱい収穫
されたそうです。

山には梨や山桃、グミ、栗など
果物が沢山あり、日野の人達は島
に渡るのが楽しみだったと言われ
ています。

事務終了のお知らせ



●ほぼ固まりました!!

させば夢大学創立20周年
を迎える、平成23年度第20
期の講師さんが一部スケジ
ュールの調整は残します
が、ほぼ固まりました。16
日の講演会の折、近藤理事
長が学生の方だけに、先行
して発表します。創立20周
年特別企画も用意していま
す。事務局だよりでお知ら
せしたいのですが、ガマ
ン!ガマン!

●今年の折紙ツリーはいか が?

今やすっかり佐世保の冬
の風物詩となった、アルカ
スロビーを飾るさせば夢大
学の「バラの折紙ツリー」
も今年で8回目を数えま
す。夏の暑い内に構想が固
まり、9月からせつせと折
り貯めたバラの折紙。70セ
ンチ正方形大(160個)、
30センチ正方形大(600
個)、18センチ正方形大
(約2000個)を飾り付
け、1日に無事点灯式を終
えました。今年はアソカ幼
稚園、アソカ北幼稚園、九



●携帯の便利さに手を焼い ています!!

多くの学生の皆さんが早
くから並んでおられるの
で、いつも早めの開場に努
めています。ところが、開
場と同時に良い席目指して
一目散。ご自身の席だけで
なく、他の学生さんの分ま
で確保されているようで
す。入口付近で「どこら辺
りね?」「わかった!前か
ら〇列目ね」と携帯電話が
大活躍!「いつも同じ人が
席取りをしています」とい
う苦情が事務局へ届きま
す。結局はその人の品位や
意識の問題なのでしょう
が・・・